

学校教育目標 「心豊かな生徒」「自ら学ぶ生徒」「心身ともにたくましい生徒」

校 訓 「自主・責任・規律・親和」 R8. 3. 13発行 文責 校長 本多 博

**本日、第21回卒業証書授与式が開催され、30名の卒業生が巣立ちました
卒業生の未来に希望と幸多きことを、心から願っています！**

一つの石を紹介します。「瑪瑙（めのう）」という宝石の原石です。平戸の海岸では古くから採取され、「平戸瑪瑙」として親しまれてきました。原石のままではただの石ころのように見えても、長い年月の中で他の石とぶつかり、こすれ合いながら磨かれることで、唯一無二の美しい光沢を放つ宝石へと姿を変えます。

皆さんも、まさにこの瑪瑙の原石でした。そしてこの三年間は、その原石を磨き上げていく時間だったと言えるでしょう。

大雨の中、ずぶ濡れになりながら活動した野外宿泊学習。多くの人を感動させた朗読劇。堂々と力強く盛り上げた体育大会。新幹線が立ち往生するというハプニングさえ、仲間と過ごした貴重な思い出となった修学旅行。お互いを信じて作り上げた合唱の歌声。三年間、情熱を注ぎ続けた部活動。そして、自分の将来を真剣に見つめ向き合った進路選択と受験勉強。

こうした経験の中で、努力が実を結んだ喜びも、思い通りにいかなかった悔しさも、そのすべてが皆さんを磨き、強さや優しさ、そして自分だけの輝きを育ててくれました。これからの人生でも困難に出会うことがあるでしょう。しかし、その一つ一つが皆さんをさらに輝かせる大切な磨き石となることを、どうか忘れないでください。

さて、これから新たな旅立ちを控えた皆さんに、腰塚勇人さんの言葉を送ります。腰塚さんは、元中学校体育教師でしたが、スキー事故で首を骨折し、生きる希望すら失いかけてました。しかし家族や医療関係者、仲間たちの支えを受け、懸命なりハビリの末に回復し、現在では講演活動を通して多くの人に勇気を与えています。その時、腰塚さんが自らに立てた誓いが、今から紹介する「5つの誓い」です。

- ・「口」は、人を励ます言葉や感謝の言葉を言うために使おう
- ・「耳」は、人の言葉を最後まで聴くために使おう
- ・「目」は、人の良いところを見るために使おう
- ・「手足」は、人を助けるために使おう
- ・「心」は、人の痛みがわかるために使おう

皆さんは、これまで多くの人に支えられて生き、同時に皆さんもまた誰かを支えています。共に笑い、励まし合い、同じ時間を歩んだ仲間。いつも温かく、時に厳しく見守り続けてくださった先生方。そして何より、誰よりも皆さんの成長を信じ、支え続けてこられたご家族。

多くの出会いと深い愛情に包まれて、今日という日を迎えました。人に感謝し、人のために役立ちたいと思う心を、どうか大切にしてください。

そして皆さんが、この南部中学校で育んだ力を胸に、それぞれの夢に向かって、力強く歩んでくれることを心から願っています。